

公表 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名		公表日 7年 1月 24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		ホールが少し狭く感じるが室内だけでなく戸外を利用したり活動内容を工夫したりしている。	今後も戸外活動や教材の工夫をして狭さを感じないように努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	子ども達が不安や不満にならないように全職員で対応してきた。	利用児増加に伴い職員も増やし、更に充実した対応ができるよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		元グループホーム後を利用しているので構造的にはバリアフリー化等環境上の配慮がなされていると思う。	環境の構造を活用できるように配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		こまめな清掃を心がけている。	子ども達の活動に合わせた空間になるように常に追求していきたいと思っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		状況に応じて個別室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		業務の改善を常に考えPDCAサイクルを念頭に置きながら常務にあたっている。	今後も初心を忘れずにPDCAサイクルを活用しより良い療育につながるよう話し合っていきたいと思っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			はじめての評価となった。できることから早急に取り組み保護者に信頼してもらえよう運営を心がけたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			上記同様、できることから早急に取り組み職員間でより良い療育につながるよう検討していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			第三者委員会を開催し業務の見直しを図っております。今後も必ず取り組んでいきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			研修計画に基づいた研修はもちろんのこと自主的に受講したい講座、研修については積極的に受けてもらい事業所の向上を図りたいと思っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページで公表済	支援プログラムについては事業所のカラーがわかるようなものに変更を考えております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		保護者の送迎時に話を聞いたり、連絡帳として使用しているICTを活用したり、面談を通じて意向を聞くようにしている。	モニタリング以外でも保護者の意向を聞く機会を積極的に設けていきたいと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		保護者との面談には必ず担当も入り一緒に見直しを図る。	担当職員にも専門的な視点から計画を作成してもらいその計画を全職員で共有できるようにしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画を意識しながら話し合いを行い担当職員の支援記録にも目を通せる状態になっている。	なかなか担当以外の記録に目を通すことは時間的に制限があるので週1回開催する支援会議での情報共有を大事にしていきたいです。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		フィードバックの時間を設けている。	今後もフィードバックの時間を確保し対応していきたいと思っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			これらの内容に添った計画を心がけております。今後もこれらを踏まえた計画を作成していきたいです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		前月に行っている。	今後も継続して全員で立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		立案の際、利用児にあっていないのかを考慮しながら行っている。	立案の際、必ず子ども達の現状を絡めながら取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		行っている。	今後も保護者様のご要望の応じたり、利用時の意志も確認したりしながら行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			これまでは職員不足により出来ない日もありましたが職員を増員したことにより確実に行ってきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	次の日に行っている。習慣づける。	その日のうちにはできないが、日にちを決めて行うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		行っている。	これまでも記録を重視して参りました。今後も丁寧に記録を取り支援につなげたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		行う予定	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		一人ひとりの興味や関心を探り話し合いながら支援している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		必ず出席してもらうようにしている。	今後も積極的に可能な限り参画してもらいたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			次年度から5歳児健診にも協力することになっている。協力機関との連携をさらに図っていききたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答)	3		行っている。	学校側の協力も得て情報共有を行っております。今後も定期的に行っていきたいと思っております。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3		行う予定	開設して初めても年度末を迎えます。スムーズに就学できるよう可能な限り情報共有を図りたいと思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		対象児無し	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		設けている。	今後も引き続き行っていききたいと思っております。
	31	(31は、事業所のみ回答)	3		ない。	保護者の要望を聞きながら必要があれば交流していききたいです。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3		参加していない。	町の方にも確認してみたいと思っております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3			状況を共有できるように歩み寄り姿勢を大事にしていききたいと思っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		行っていない。	今後予定しております。定期的に行いたいと思っております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		利用時重要事項説明を行う際行っている。	定期的に発信していく必要があると反省しております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		はい。	面談、相談時など家族の意向を重視しその上で利用児の意向も聞くようにしております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		はい。	今後も定期的に見直し保護者の皆様の同意を得た上で支援していききたいと思っております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		はい。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		まだ開催していない。	今後開催を予定しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			今のところはまだ対象項目はないが、もしあった場合は迅速に対応したいと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		発信している。	今後もHPやSNSを活用し保護者の皆様に安心して頂けるように努力いたします。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		はい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			開かれた事業所をめざしていきたいと思っております。保護者の皆様が気軽に声をかけてくださるような雰囲気を作っていきたいと思っております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		図っている。	町の読み聞かせグループをお招きして朗読会を開催致しました。今後も地域との交流を心がけていききたいと思っております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		毎月行っている。	毎月必ず行っておりますが、実施状況を保護者の皆様にお伝えする機会がなかったと反省しております。今後、月のおたよりやSNSな
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			BCPIは策定しているが、非常災害に基づいた避難、訓練を行っていただけなかったので今後は行っていききたいと思っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		アレルギーなども含め確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		利用時確認するようにしている。 現在は対象児無し。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		安全計画は作成しており、職員間で共有している。	計画は作成しているが、研修や訓練等が行っていないので今後検討したいと思います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		3		計画は作成しているが保護者への説明が不十分だったと思い反省しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		ヒヤリハットは共有している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		計画の作成、研修会にも参加しその情報共有を職員間で行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		身体拘束は行わない方向性を職員間で共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			